

# みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2005/12/25 Vol. 75 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

## 印西市議会/平成 17 年第 4 回定例会報告 ( 2 )

いつもお世話になっております。印西市議会第 4 回定例会 ( 12 月議会 ) は、12 月 16 日 ( 金 ) までの日程で行われ、閉会しました。今回も 12 月議会での議案審議について、ご報告していきたいと思っております。

### 議案審議とその結果 ( 2 )

#### 1) 小児慢性特定疾患医療費についての意見書の提出について ( 可決 )

- この議案は、市民からの千葉県に対する意見書提出の要望に対して、ぐんじとしのりが発議者として市議会に賛同議員 ( 増田葉子氏他 全会派からの賛同者 ) とともに提案したものです。

#### - (意見書全文を掲載します。)

国においては小児の難病 10 疾患群について、児童の健全な育成を阻害する恐れがあるところから、小児慢性特定疾患治療研究事業を実施し、医療費の助成を行ってきました。

しかし、国は昨年度、難病対策を見直し、同事業について所得に応じた自己負担の導入、対象疾患の基準見直しなどの制度改正を行いました。国の制度改正を受けて、千葉県においても、国制度への上乘せとして実施していた小児慢性特定疾患医療費助成事業を廃止しました。その結果、本年 4 月～患者の多くが負担増となり、昨年度の助成対象者の約 9 割が対象外とされました。印西市においても、小児ぜんそくを含む慢性呼吸器疾患の認定患者は 497 名から 7 名に激減する事態となっています。

そのため、病気の子どもをかかえる家庭には、これまで大きかった経済負担が、より一層の負担増となり、治療を中断するなど療養に悪影響を与えることは必至となっています。

よって、県においては、国に対して、小児慢性特定疾患治療研究事業の対象疾患の基準の緩和を求めること。また、県独自の「小児慢性特定疾患医療費助成」の復活、もしくは国制度を補完できるような医療費助成制度を実施することを強く要望します。

以上 地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

#### (ぐんじとしのりから / 市民の皆様へ)

##### 1. 県の事業と印西市の事業について

今回の請願は「千葉県」に対して「小児慢性特定疾患治療研究事業」についての助成制度の見直しを印西市議会から ( 千葉県を通じて ) 国に求めるものであり、また千葉県独自の助成制度を検討して欲しいとしたものです。( この意見書は、「印西市」に対して予算措置を議会から要求したものではありません。 )

##### 2. 印西市における「特定疾患見舞金制度」

現在、市では市単独事業として「特定疾患医療受給者証\*」、「小児慢性特定疾患医療受給券\*」等の発行を受け入院および通院している方で特に負担の多い認定者に対してより手厚い援護となる制度となるように「見舞金制度」を設けております。( \*千葉県の事務として発行。 )

##### 3. 印西市における「援助策」～市独自の援助策は?

担当課に確認したところ、以下のような回答がありました。

「当該事業については、子育て家庭に対する経済的な支援ということでは、重要なことだと考えております。しかしながら、国・県・市とも財政状況が厳しい中において事業を継続するために制度改正されたものであります。現状では、すぐに市独自の援助策というのは難しいものがありますので、御理解ください。」

##### (参考) 「小児慢性特定疾患..」とはどのような病気か?

小児ガン、慢性腎疾患、ぜんそく、慢性心疾患、膠原病 ( 川崎病など )、先天性代謝異常 ( 先天性胆道閉鎖症など )、糖尿病、血友病等血液・免疫疾患等をいいます。

## 2) 平成 17 年度印西市一般会計補正予算(第 7 号)について (可決)

- 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 71,089 千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 19,192,380 千円とするものです。
- > 今回の補正予算で以下の事業が開始されます。

### - 自転車駐輪場整備事業 23,009 千円

千葉ニュータウン中央駅北口の既存駐輪場について、都市機構より返還要求があったために現在の場所から駅隣接の場所に移設し、新たに建築するものです。= 有料駐輪場になります。(3 階建てにて建設予定。収容台数 4260 台-原付 126 台含む)

総工費 5 億円(この整備は国からの「街づくり交付金」の対象となり 1.5 億円の補助があります。) 来年度に競争入札にて業者選定～着工。9 月から供用開始予定。

- 今後、NT 中央駅南口交番脇の駐輪場も 2 階建てとして、建設更新予定です。
- 牧の原駅では同交付金にて橋上駅舎通路の拡幅改良が予定されています。

## 市町村合併第 2 ステージ(平成 17 年 4 月～平成 22 年 3 月)へ

総務省は「地域のことは自ら決定し責任を持つ自立地域社会の創造を目指して」地方へ分権型社会を確立させるために三位一体改革を進めています。このことにより、平成の合併をすすめてきたわけですが、現在に至るまでの経緯と現在の状況、今後について報告していきたいと思えます。

### 1) 印西市の合併にむけてのこれまでの動き

- 平成 14 年 12 月 26 日 印西市、白井市、印旛村、本埜村、栄町 - 任意合併協議会開始
- 平成 15 年 2 月 16 日 栄町離脱による、任意合併協議会の解散
- 平成 15 年 4 月 1 日 印西市、白井市、印旛村、本埜村 - 法定合併協議会  
(新市の名称 北総市、市役所は印西市役所、新設合併)
- 平成 16 年 8 月 31 日 白井市での住民投票(反対)による、白井市離脱に伴う法定合併協議会の解散

### 2) 国の動き

- 平成 17 年 4 月 1 日 新合併特例法
- 平成 17 年 8 月 31 日 「市町村合併支援本部」より新市町村合併プランの概要が発表

### 3) 県の動き

- 平成 17 年 11 月 18 日 第 1 回合併推進審議会開催  
合併を行わなかった各市町村とのヒアリング開始

「合併推進構想策定に当たっての県の考え方」は文書で示され、基本理念として「基礎自治体の進化・・・次代を担う自立都市へステップアップ」と提示されています。

～今後 4 回にわたる審議会が開催され、来年 10 月には「堂本知事が構想を発表する予定」です。(合併に関する各種の権限は知事に移管され構想に基づき、各市町村の合併の斡旋、調停ができるようになります。知事の勧告で合併が推進されますが、議会が否決した場合には有権者の 6 分の 1 の署名で住民投票ができるようになり、5 年を目処に合併を推進していこうとします。)また、審議会の会長を務める森田教授は今回の構想は「(前回の合併が少なかった) 県北西部が中心となる」と話をしています。

### 4) 印西市の動き

- 12 月 14 日に「市議会合併問題研究会」が開催され、現状についての確認を行いました。
- 合併の勧告が予想される「印旛村、本埜村」との意見交換は合併の案件だけでなく、北千葉道路、北総鉄道の運賃問題等々も含め、「懇談会」という形式で川村議長が 8/16、11/7 に行っています。
- 本埜村からは多くの関係者から非公式ながら「(印西市との)吸収合併でもいい。」との声が挙がっています。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思えます。よろしく願い致します。

ぐんじとしのり